

マスタ統合ソリューション

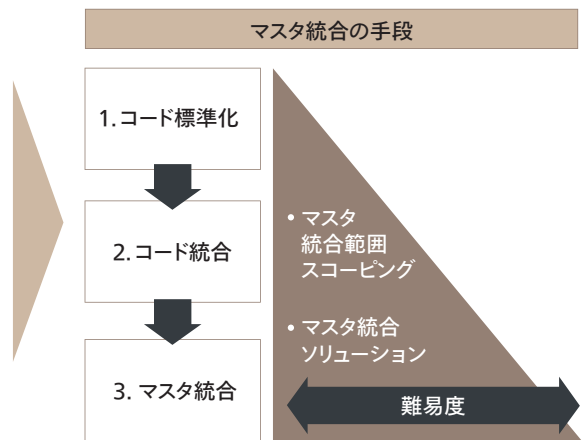
導入実績に基づく独自のアプローチ論を活用

グローバル経営管理、M&A、各種業務統合 (SCM、PSI、CRM、PLMなど) の実現には、マスタ統合は欠かせないテーマです。しかしながら、「適切なマスタ統合スコープの定義」「適切なマスタ統合ソリューションの選択」だけではマスタ統合を成功に導くことはできません。

アビームコンサルティングは、独自のアプローチ論を活用したマスタ統合ソリューションサービスを提供いたします。

マスタ統合の必要性

経営管理	多方面からの経営情報分析
	M&A後のビジネス統合・システム統合 内部統制/コンプライアンス対応
業務プロセス	会社・組織をまたがった情報見える化
	グローバルSCM・調達の実現 トレーサビリティの実現
IT基盤	システムのメンテナンスコスト削減
	老朽化に伴うシステムリプレイス
	システム機能およびデータの集約



マスタ統合成功への3つのポイント

Point 1 Think 'Big' Do 'Small'

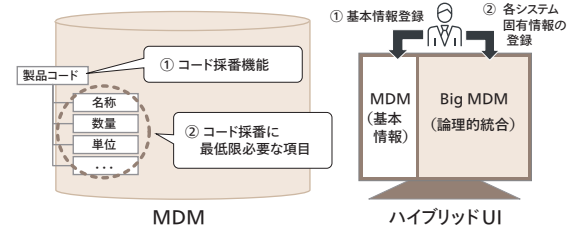
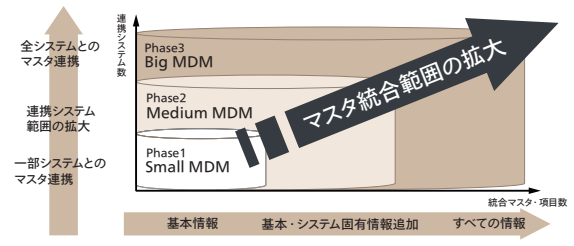
- マスタ統合スコープを大きく描いて小さく始めることが重要
- なぜなら、統合されたマスタの背後には多数のシステム・業務が潜んでいる

Point 2 MDM is 'Simple'

- MDMへ必要な機能はシンプルな機能
- コード採番と採番に必要な項目の管理が必要
- ハイブリッドUI (User Interface) により、将来の拡張性と柔軟性を担保

Point 3 マスタ統合アプローチ

- マスタ統合のアプローチが最も重要な鍵
- トップダウンアプローチからボトムアップアプローチまで、マスタ統合プロジェクトの成功が90%以上決定
- システムチェックで対応できないコード統合が肝



トップダウンアプローチ	・ 経営の観点から見たマスタ統合の目的を定義 ・ 経営管理指標となるマスタ・コードの選定、あるべきコード体系の定義
ボトムアップアプローチ	・ 業務・システム観点から見た統合対象マスタの選定 ・ 対象マスタ・項目の主管部門、マスタ管理組織の定義 ・ マスタ管理業務プロセスの定義
アプローチ確認	・ MDM実装を行い、トップダウンとボトムアップのすり合わせを実施 ・ 本番稼働に向けたシステム開発・データ移行
本番運用	・ マスタ管理業務プロセスの定着・浸透 ・ 稼働後に劣化するマスタデータの品質維持・向上 (クレンジング)

マスタ統合アプローチの方法論

マスタ 統合アプローチ

アビームコンサルティングは、マスタ統合・MDM導入の実績をもとに、マスタ統合アプローチの方法論をまとめています。

マスタ統合を成功に導くために一番重要なのは、マスタ統合のアプローチです。「トップダウンアプローチ」から「ボトムアップアプローチ」までのアプローチが、マスタ統合プロジェクト成功の90%以上を占めると考えています。

フェーズ	概要	アプローチのポイント
トップダウン アプローチ	1. マスタ統合目的の定義	<ul style="list-style-type: none"> 経営の観点から見た「何のためにマスタ統合するのか」というトップダウンの目的を明確にします。 生産、販売物流、会計といった業務領域の観点で課題を整理し、課題解決のための施策や各業務領域の考える目的を明確にします。
	2. 経営視点・業務視点からの統合対象 マスタ選定・標準コード体系定義	<ul style="list-style-type: none"> 商品、取引先、組織、その他共通マスタといった主要分類ごとに経営管理指標となるコードを選定し、理想的なあるべきコード体系を定義します。 マスタ統合の目的実現に必要な統合対象マスタを選定します。
ボトムアップ アプローチ	3. システム視点からの統合対象 マスタ選定	<ul style="list-style-type: none"> システム、業務視点から誰もが納得できる数値的・定量的判断基準を定義し、その基準に従って統合対象マスタを選定します。 マスタごとにマスタ統合パターン（集中管理型、Hub型、集約型）を定義します。
	4. 専任のマスタ管理部門・管理者を設置、 マスタ項目単位の主管部門を定義	<ul style="list-style-type: none"> コードとコード発番に必要な基本情報を管理する、専任マスタ管理部門・管理者を定義・設置します。 業務実行時に同時メンテナンスするマスタ項目単位で、主管部門を定義します。
	5. マスタ運用プロセスの定義 (事業領域別・マスタ種類別 etc)	<ul style="list-style-type: none"> 事業領域（例：食品、消費財、自動車など）×業務処理（登録・変更・照会・削除、起案・承認）で整理したパターンごとに業務プロセスを定義します。 品目タイプ・勘定グループといったキー項目となる要素を考慮して検討します。
アプローチ の確認	6. MDM（マスタ管理システム）の実装	<ul style="list-style-type: none"> 登録業務プロセス、マスタ管理、配信・同期の3機能ごとにプロトタイプを作成します。 プロトタイプの活用で効率的にMDMを実装します。定期的に改版される（と想定される）マスタ仕様と同期をとりながらプロトタイプのバージョンも改版していきます。
	7. テスト移行～本番移行	<ul style="list-style-type: none"> 各テストフェーズ用にマスタデータを準備することで、これまでのアプローチ精度を確認していきます。 スムーズな本番稼働を迎えるため段階的な本番稼働を進めます。
本番運用	8. 本番運用を通じた品質の維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> 本番稼働直後は、マスタデータが最もきれいな状態で揃っています。 稼働後に劣化していくマスタデータの品質維持・向上のため、チェック処理を追加開発したり、定期的なクレンジング機能を準備します。

サービス概要

アビームコンサルティングのマスタ統合ソリューションは、短期的な現状調査・分析、構想策定といったコンサルティングサービスから、中長期的なシステム構築、運用後支援といったMDM導入プロジェクトまで、総合的なサービスを提供します。

MDM 導入プロジェクト				
コンサルティングサービス				
フェーズ	現状調査・分析 (約1ヶ月)	構想策定 (2～3ヶ月)	システム構築 (半年～1年)	運用後支援 (3ヶ月)
サービス	クイックアセスメント	基本構想策定	短期導入ソリューション	稼働後支援
サービス概要	現状調査・分析 (業務プロセス/ システム/マスタ)	RFP作成支援	プロトタイプ方式	業務定着化支援
	マスタ品質診断	MDMパッケージ選定	MDMテンプレート	システム運用支援
	マスタ統合目的の策定	統合対象マスタの選定	Excel申請書	マスタ品質の維持向上
		マスタ運用プロセス定義	ハイブリッドUI	稼働後マスタ品質診断